

北陸先端科学技術大学院大学 修了者アンケート集計結果

I. 調査概要

(1) 調査実施機関

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学及び東京商工リサーチ金沢支店・本社市場調査部

(2) 調査期間

令和5年9月8日～令和6年1月9日

(3) 調査目的

北陸先端科学技術大学院大学修了者に対して、大学の教育システムの実社会での有用度に関する意見を聴取し、教育効果を検証するため。

(4) 調査方法

WEB調査

(5) 調査対象及び調査対象者数

修了者 8,328名

(6) 有効回答件数

	対象者	回答数	回答率
修了者	8,328件	1,020件	12.2%

(7) 調査結果の読み方及び注意事項

○図表中の構成比率は、小数点第2位を四捨五入している。そのため、各回答の合計が必ずしも100%とならないことがある。

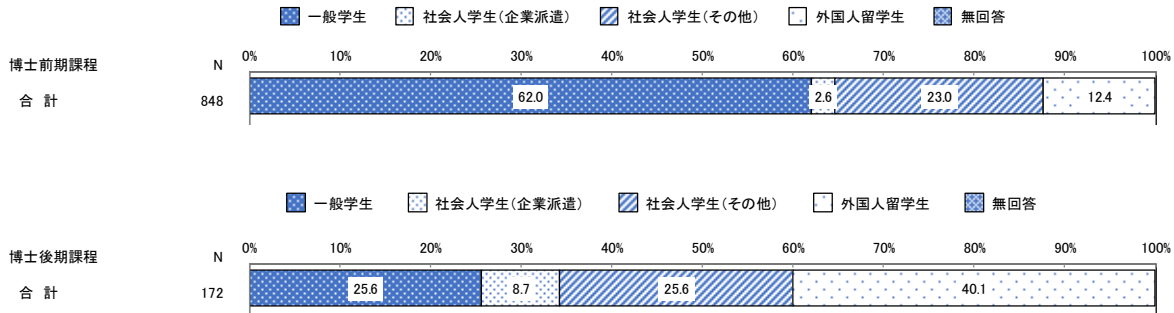
○複数回答の設問は、回答が2つ以上あり得るため、合計は100%を超えることもある。

○図表中の「N」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

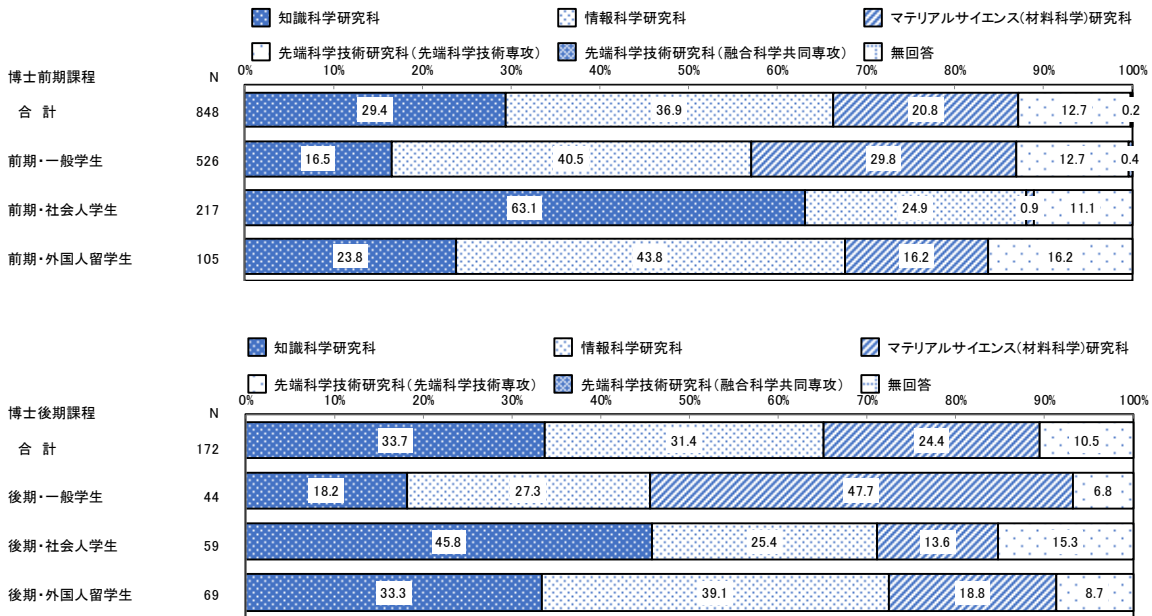
II. 調査結果

1. 入学時の状況について

・在学区分

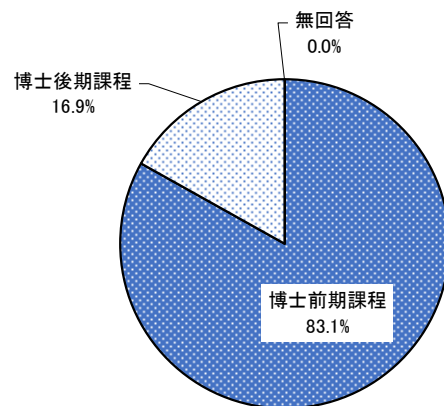


・在学研究科

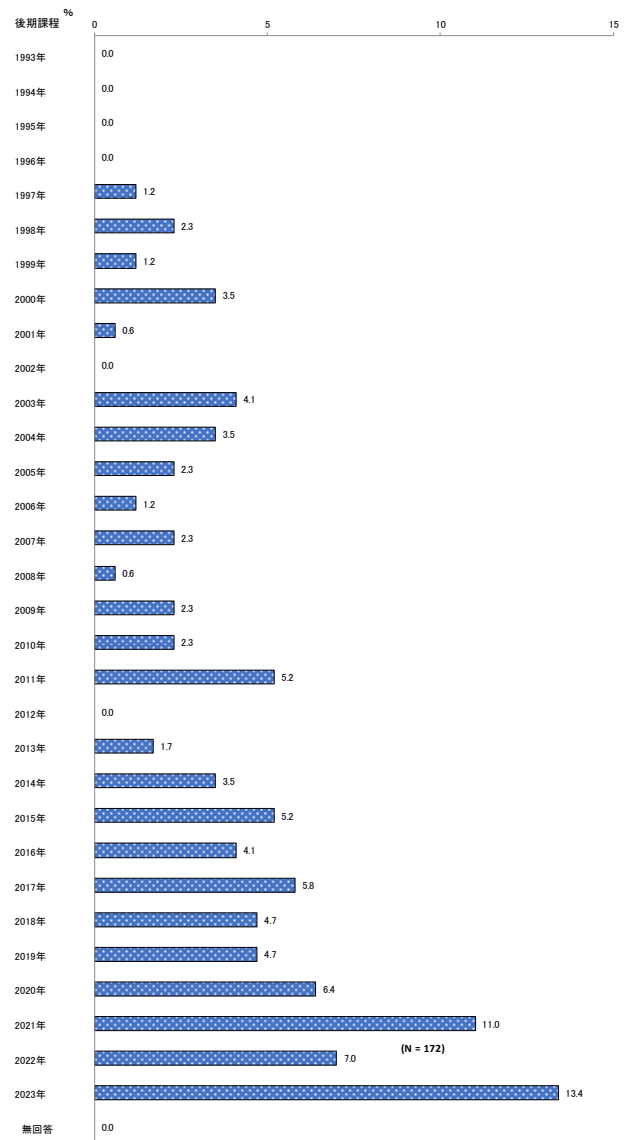
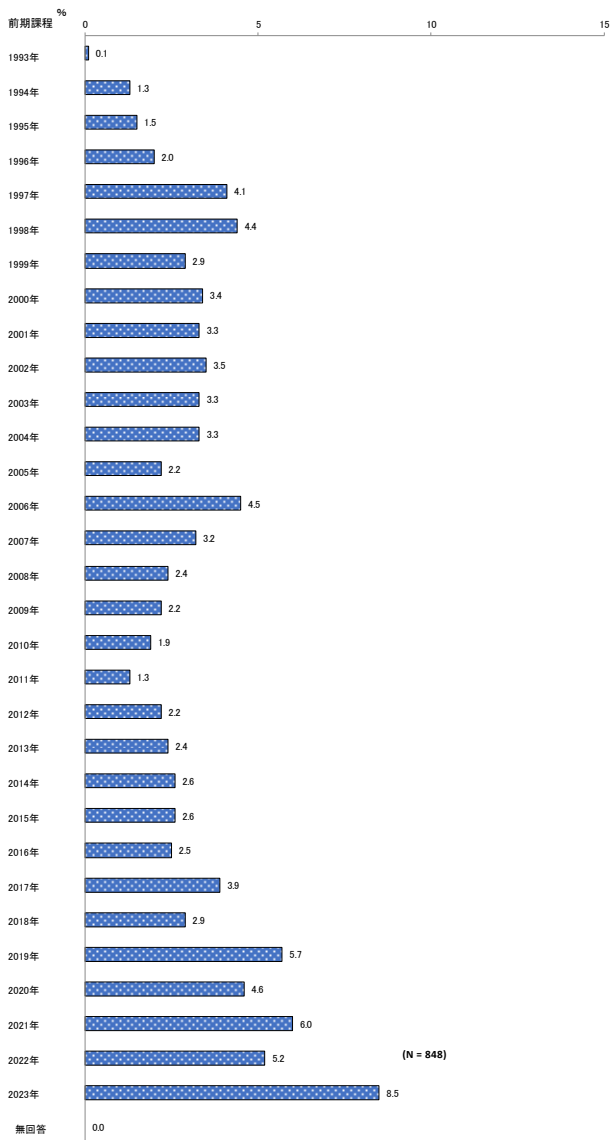


・在学課程

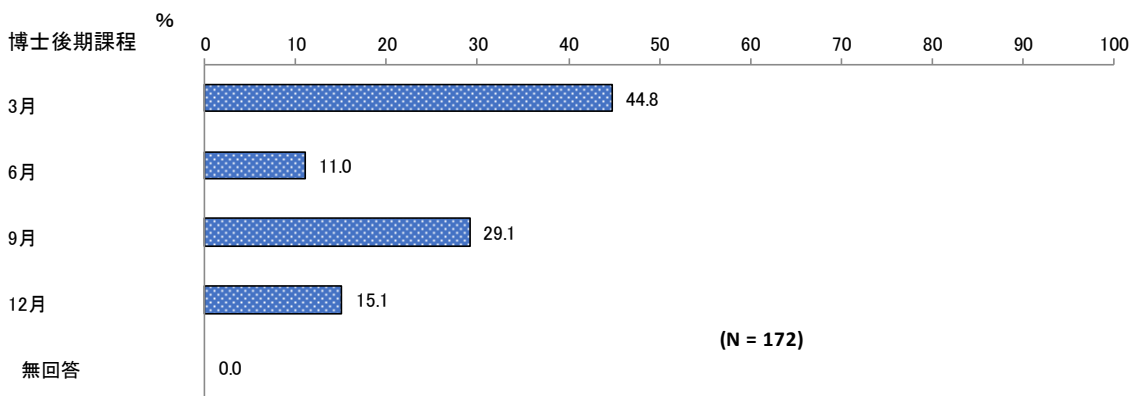
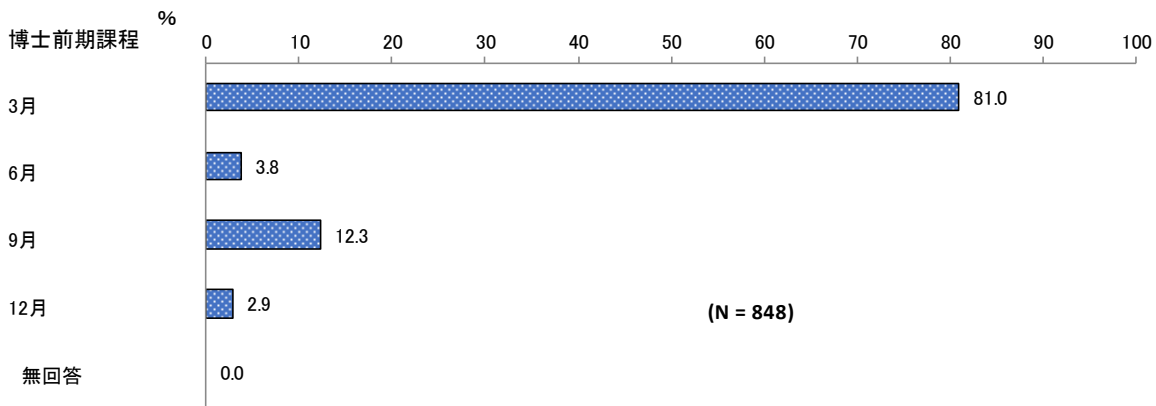
(N = 1020)



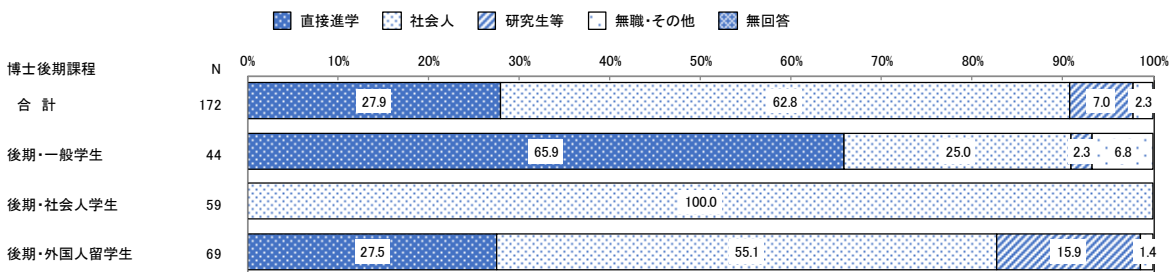
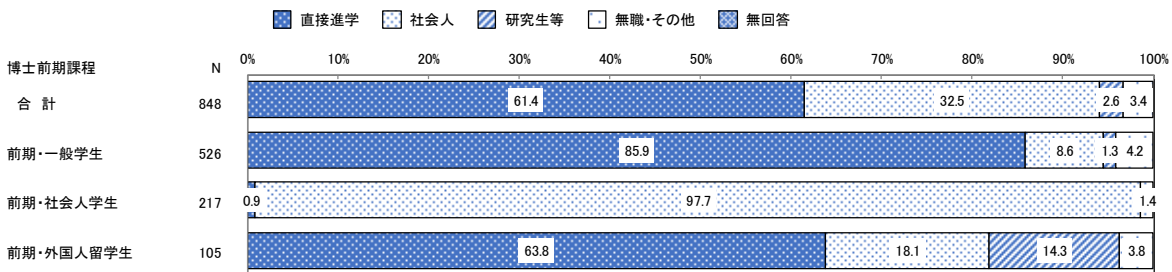
・ 修了年度



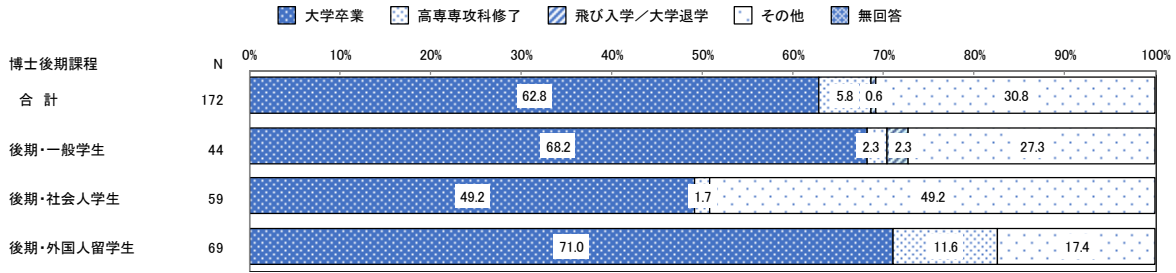
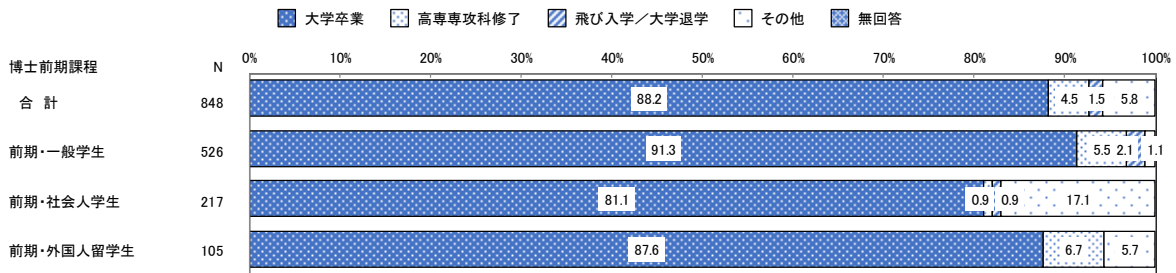
・ 修了月



・ 入学時経歴

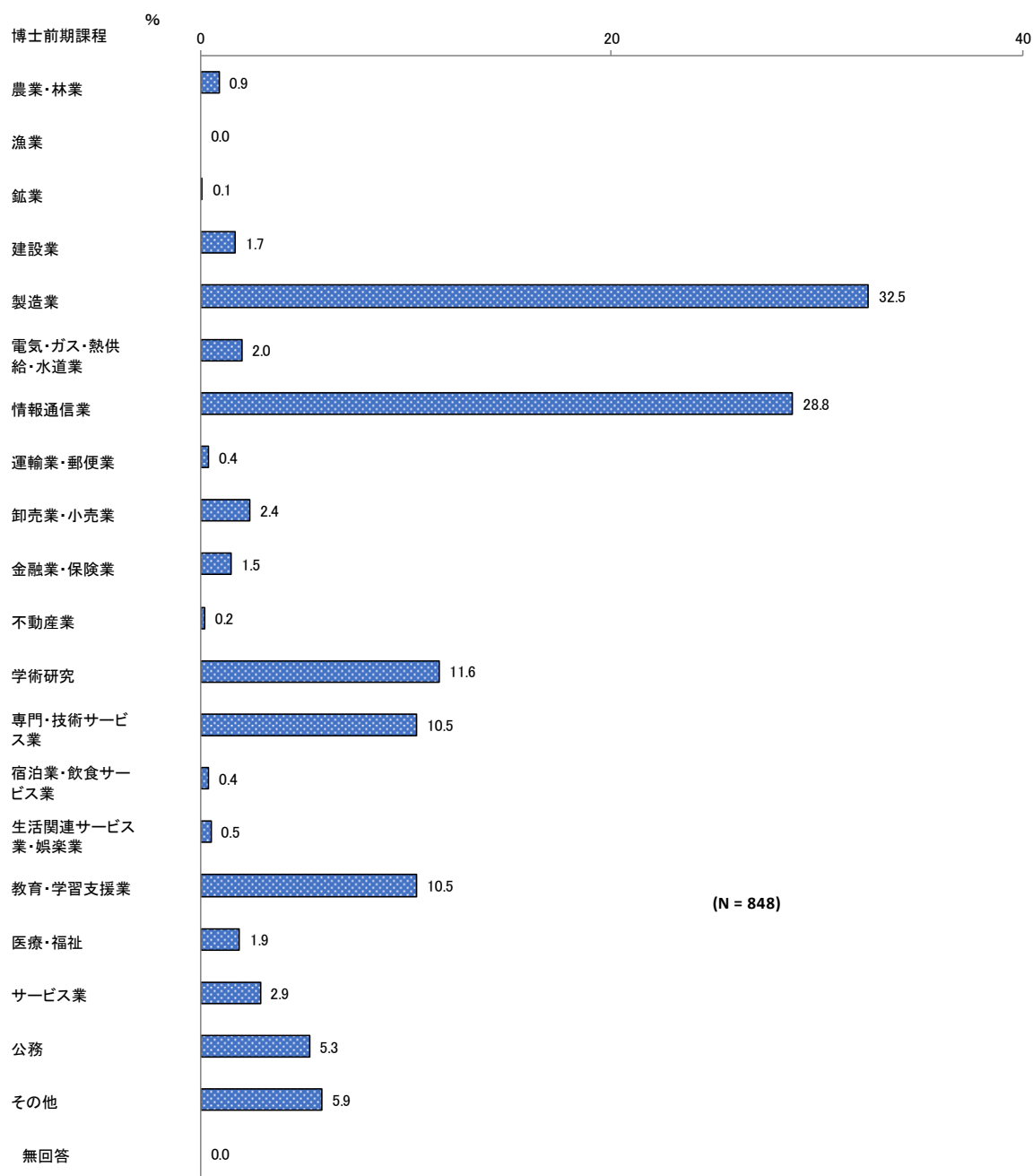


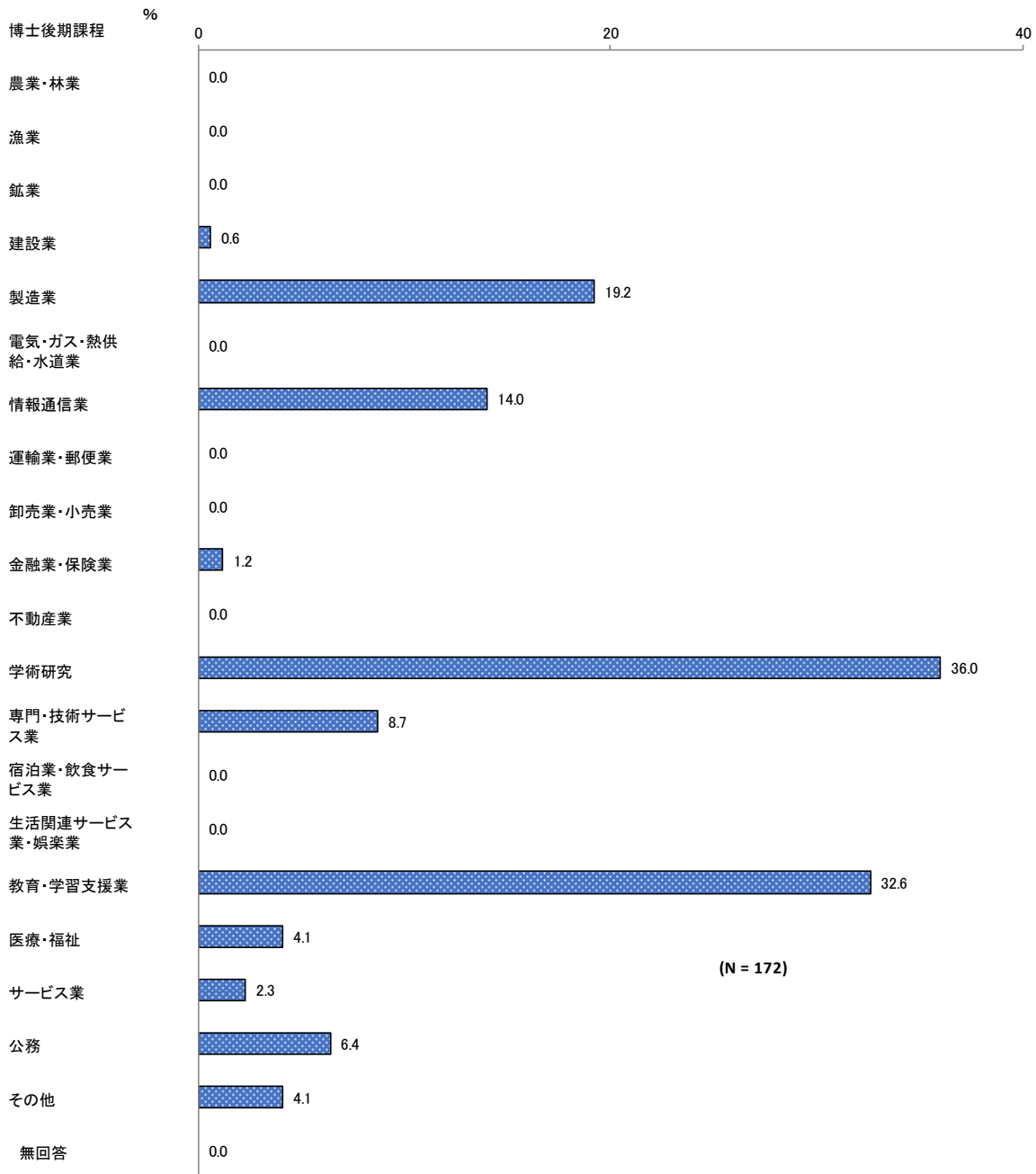
・入学時学歴



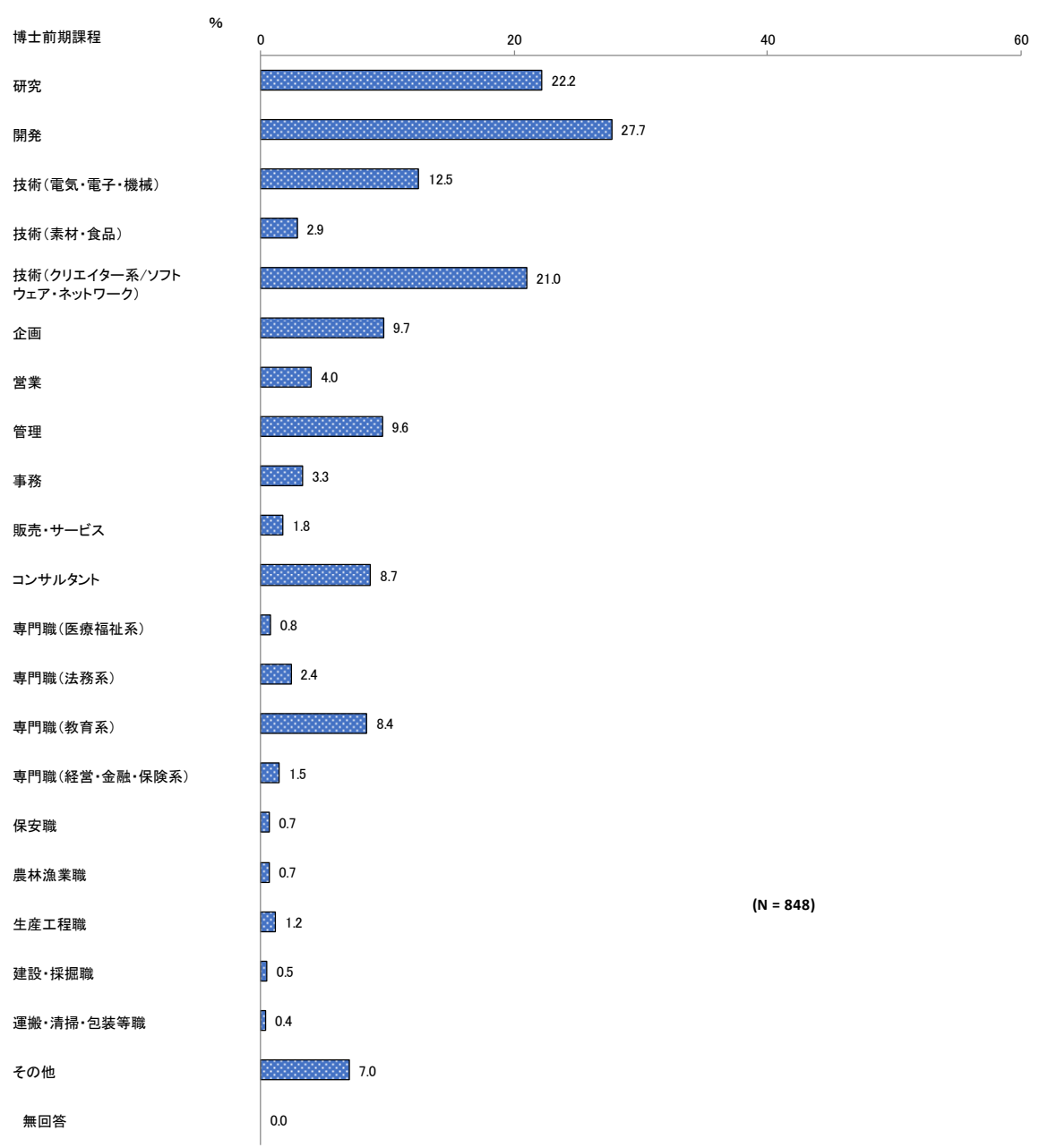
2. 現在の勤務先について

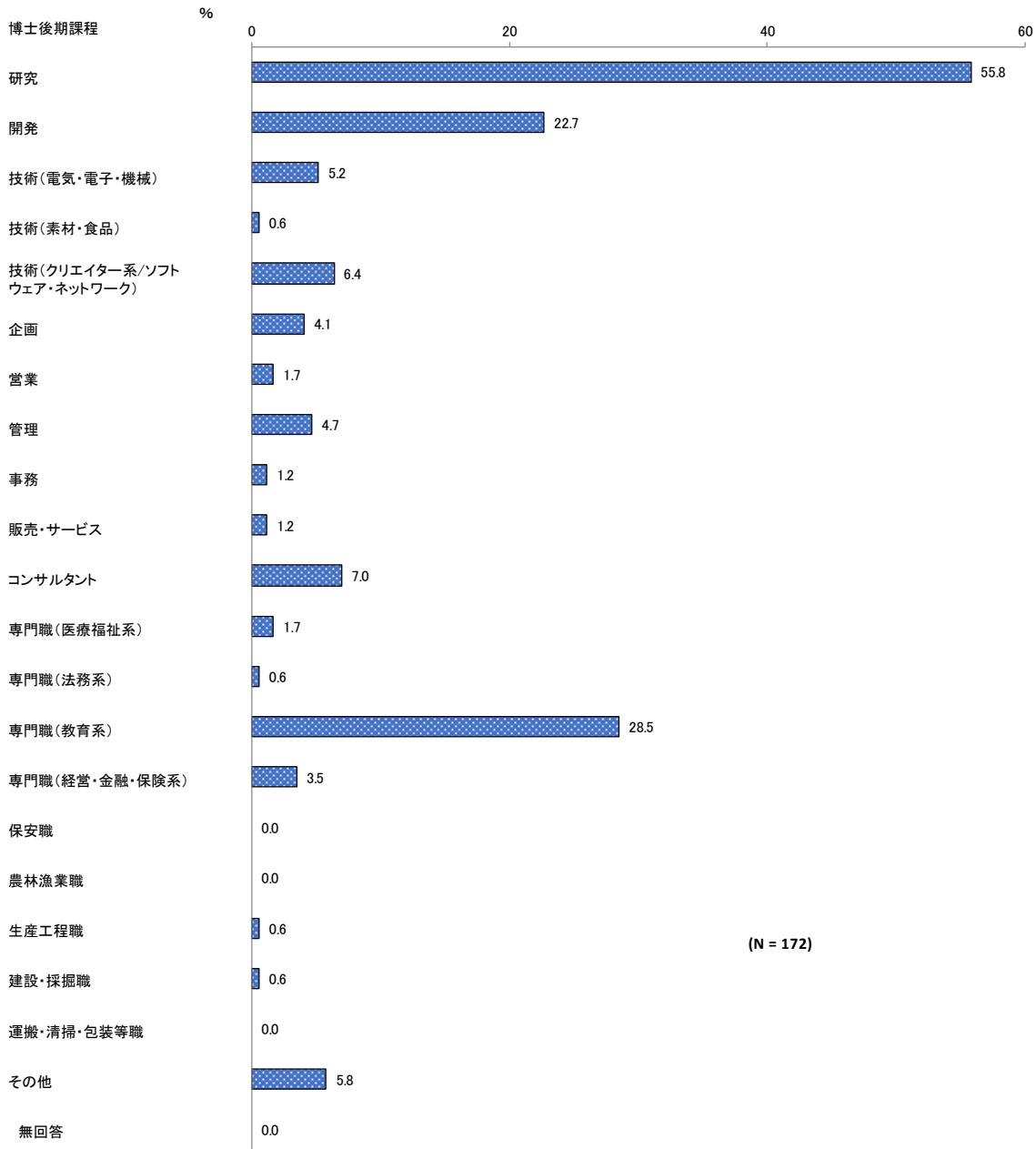
2-1. 現在の業種について、該当するものを選択してください。(2個まで複数回答可)



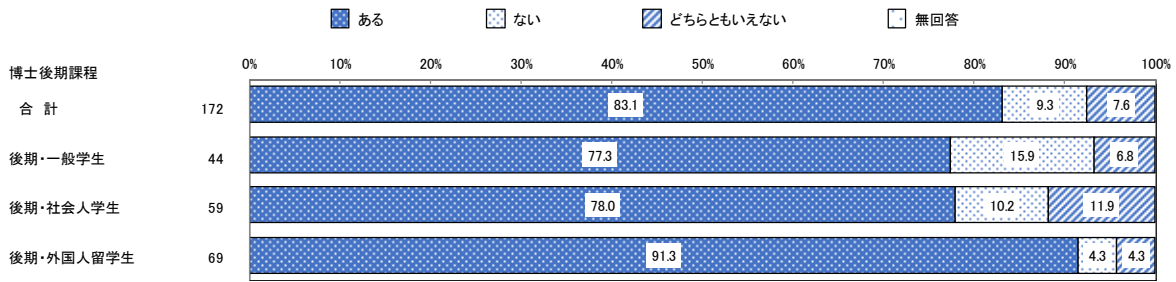
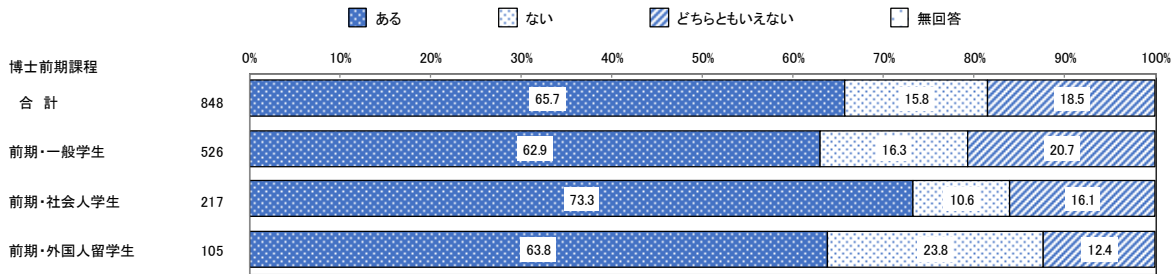


2-2. 現在の職種について、該当するものを選択してください。(2個まで複数回答可)





2-3. 本学における学修内容と現職に関連性がありますか。

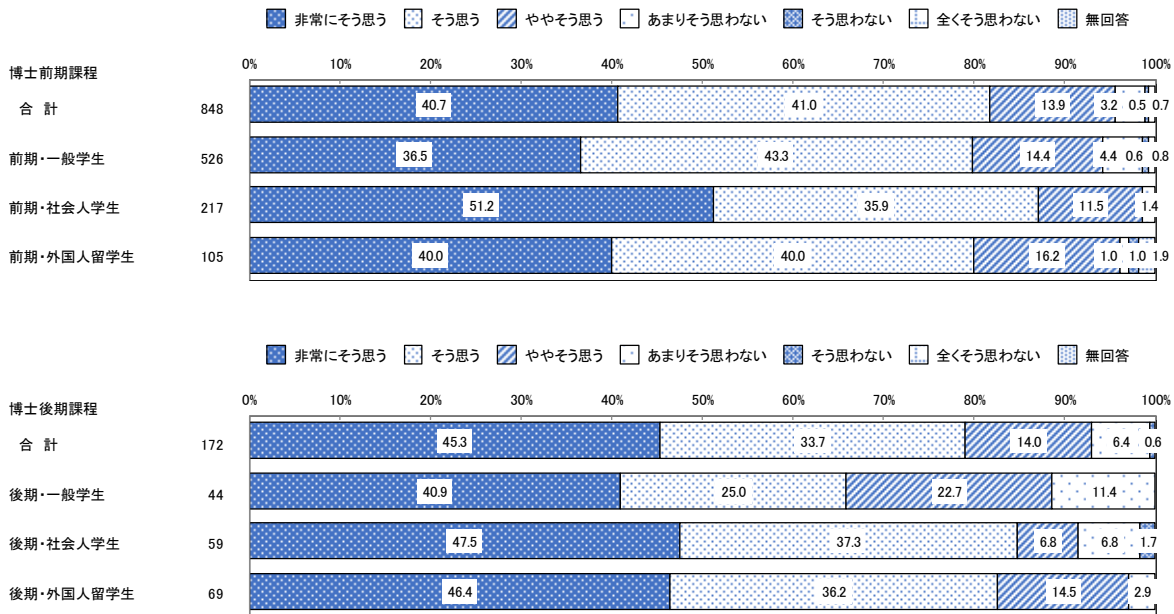


3. 大学院の教育方針について

3-1. 本学は、幅広い知識を体系的に修得させることを目的とし、大学院教育において以下のような新たな試みに取り組んできました。これらの取り組みについてお答え下さい。

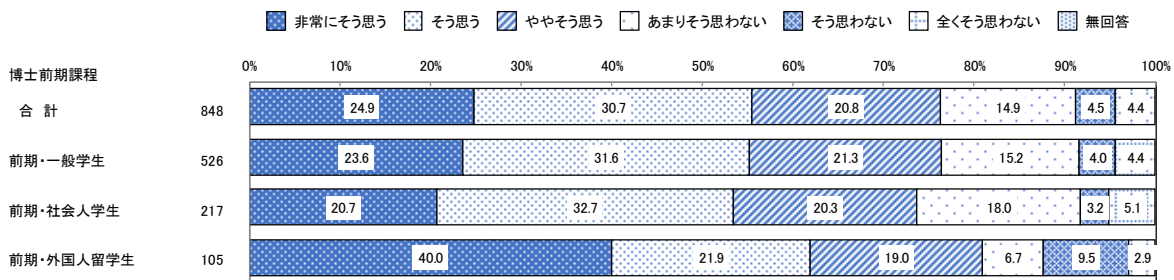
(1) 体系的なカリキュラムに基づく基礎から応用までの講義科目の履修について

・このような体系的なカリキュラムで講義を受けたことは、現在のあなたにとって有益でしょうか？



(2) 導入配属（仮配属）制度について

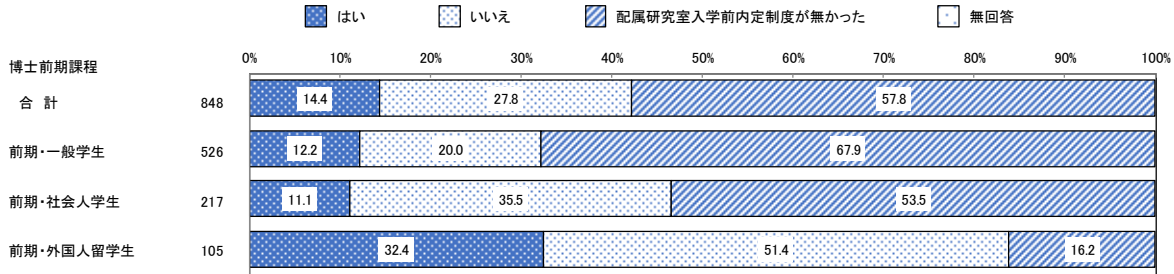
・導入配属（仮配属）期間は、あなたにとって主指導教員を選ぶ期間として有益であったと思いますか。



※博士後期課程修了者は調査対象外。

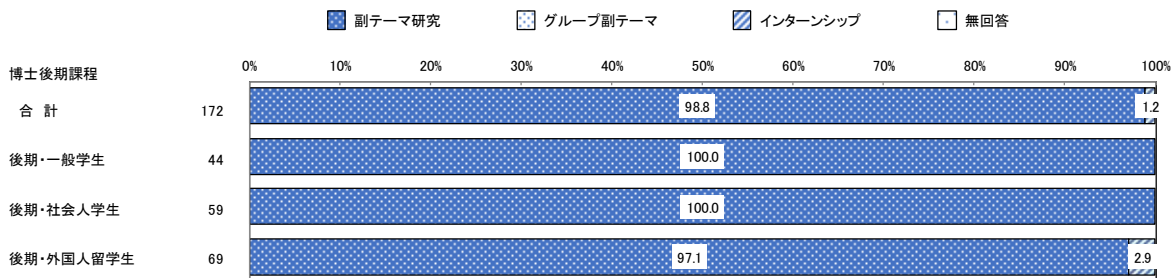
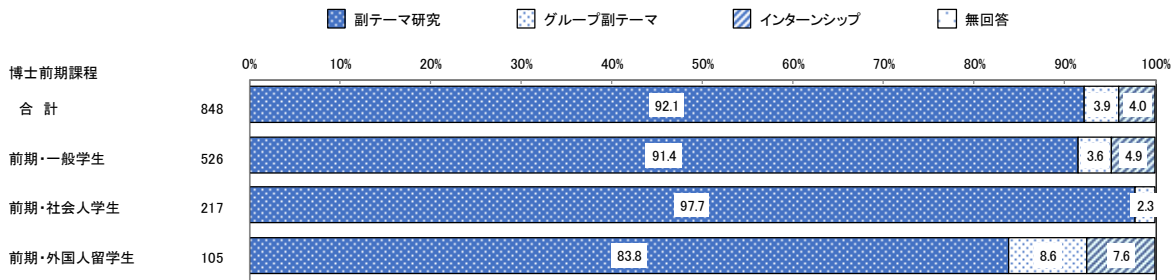
・2016年度から、入学前に配属先を決められる早期配属（配属研究室入学前内定制度）も可能となりました。あなたは、この制度を利用しましたか？

※博士後期課程修了者は調査対象外。

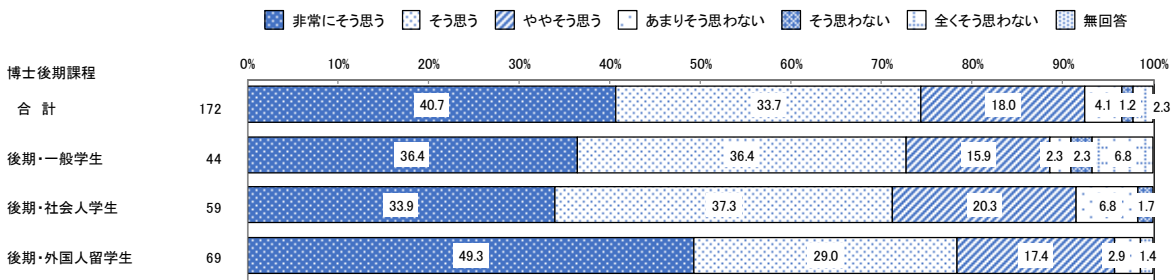
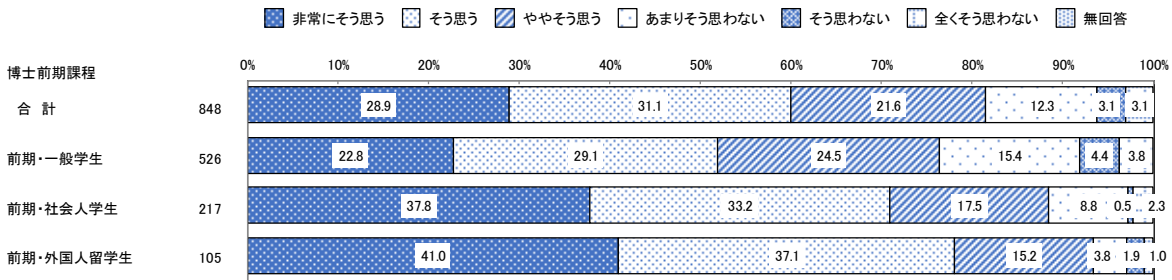


(3) 副テーマ研究について

・本学では専攻分野に関する研究課題(主テーマ研究)のほかに、第二の研究課題を課しています。あなたが在学時に第二の研究課題として選択したものをチェックしてください。

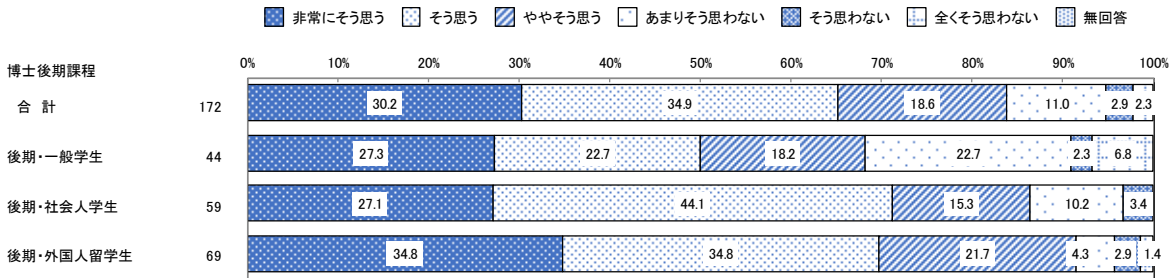
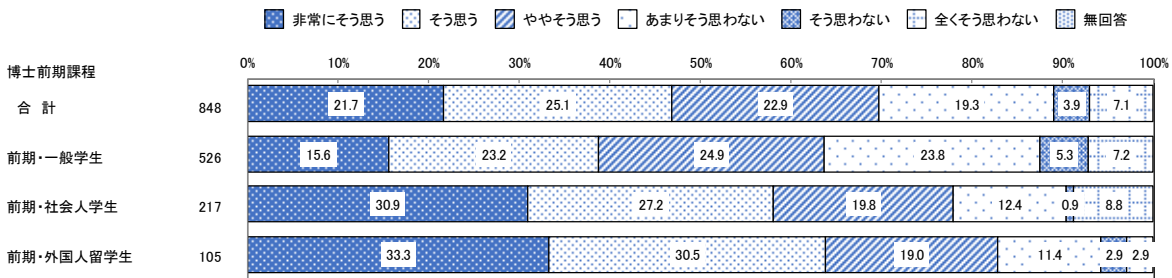


・副テーマ研究、グループ副テーマ又はインターンシップを行ったことは、現在のあなたにとって有益
 でしょうか？



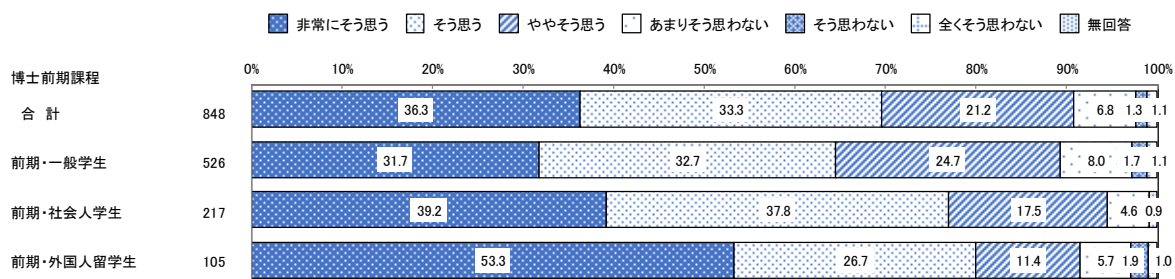
(4) 副指導教員制度について

・副指導教員がいたことは、あなたにとって有益であったと思いますか。



(5) RP（研究計画提案書）について

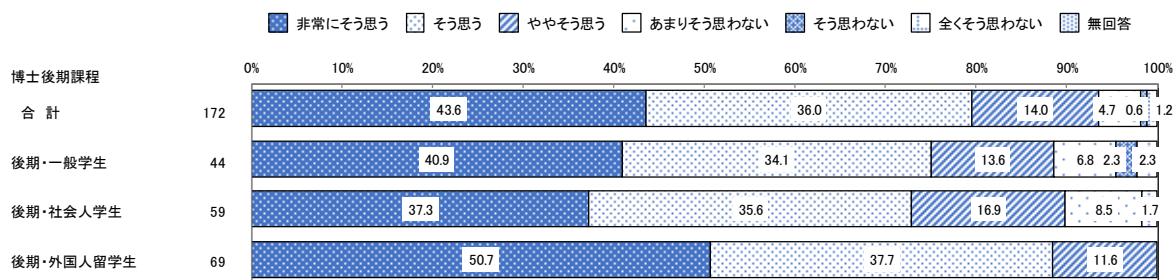
- ・ RP の作成は、事前に計画を立てる、文書・図面を使って計画書を作成する等の取り組み姿勢を育成・獲得するための経験として、現在のあなたにとって有益でしょうか？



※博士後期課程修了者は調査対象外。

(6) RP（研究計画書）について

- ・ RP の作成は、事前に計画を立てる、文書・図面を使って計画書を作成する等の取り組み姿勢を育成・獲得するための経験として、現在のあなたにとって有益でしょうか？

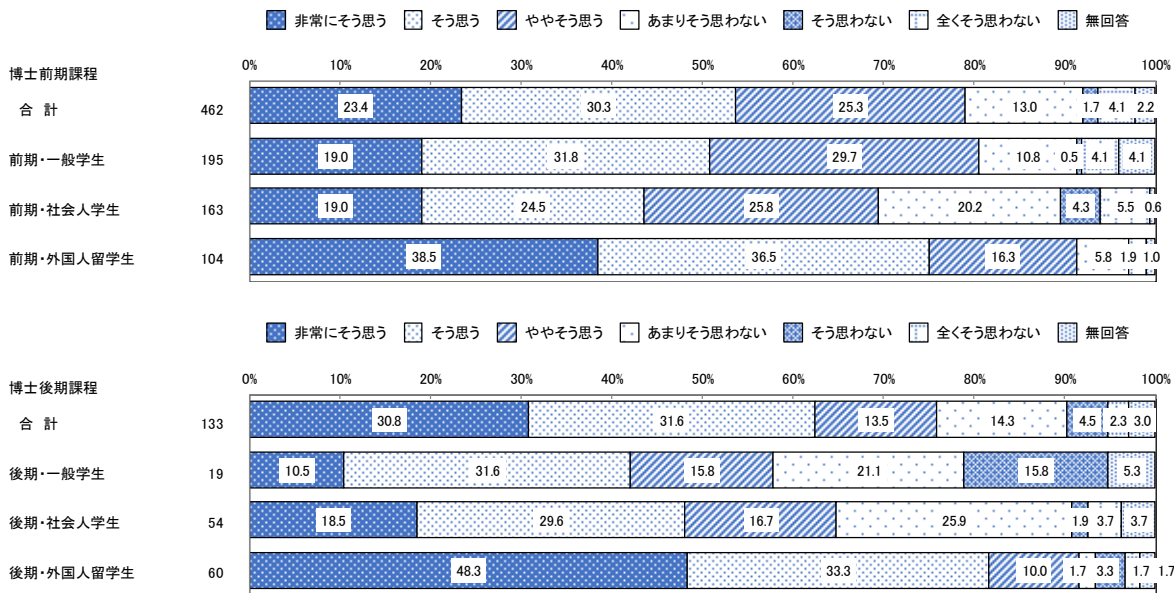


※博士前期課程修了者は調査対象外。

3-2. 大学院教育における授業・教育形態について

(1) 本学では、学生のキャリア目標の実現を支援するため、就学目的に対応した教育プログラム（SDプログラム、5Dプログラム、3Dプログラム、Mプログラム、Mαプログラム）を提供しています。これについてお答えください。

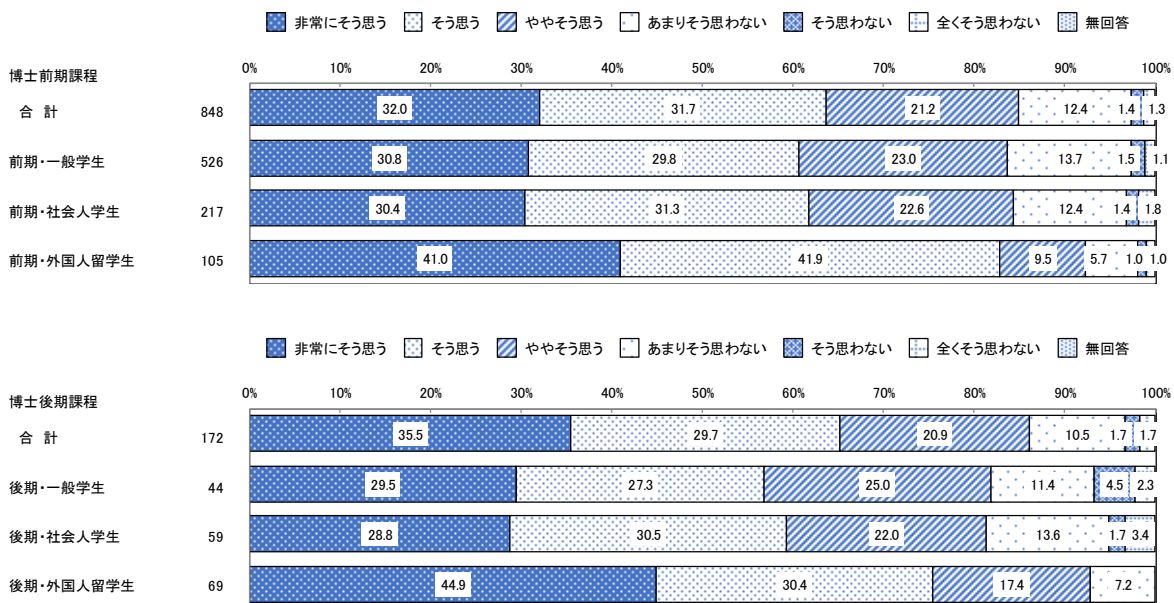
・就学目的に対応した教育プログラムで教育を受けたことは、現在のあなたにとって有益でしょうか？



※2008年度以前の課程修了者は調査対象外。

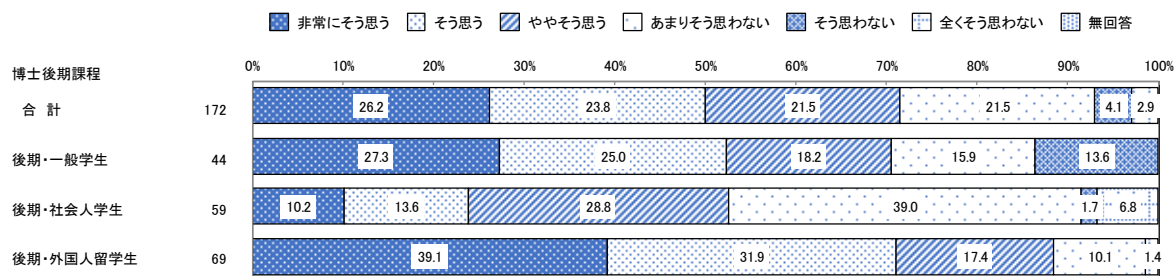
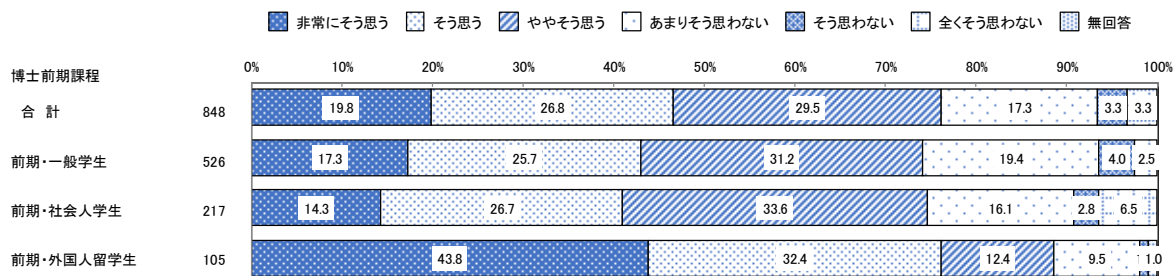
(2) 本学では、段階を踏みながら短期間で効率よく必要な知識を獲得できるよう、クォーター制という授業システムを導入しています。これについてお答えください。

・在籍時にクォーター制で授業を受けたことは、あなたにとって有益であったと思いますか。



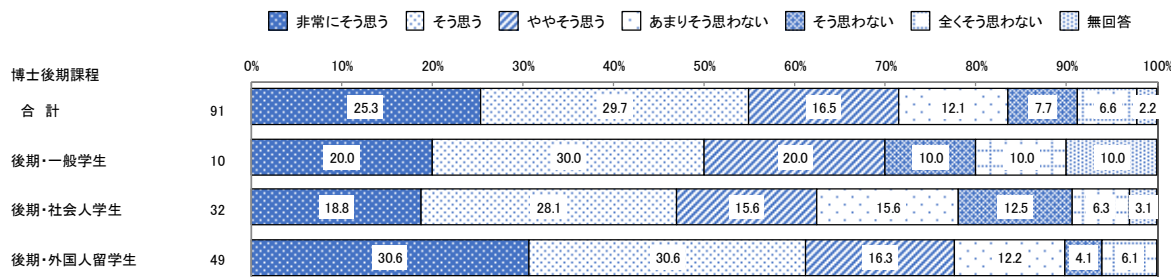
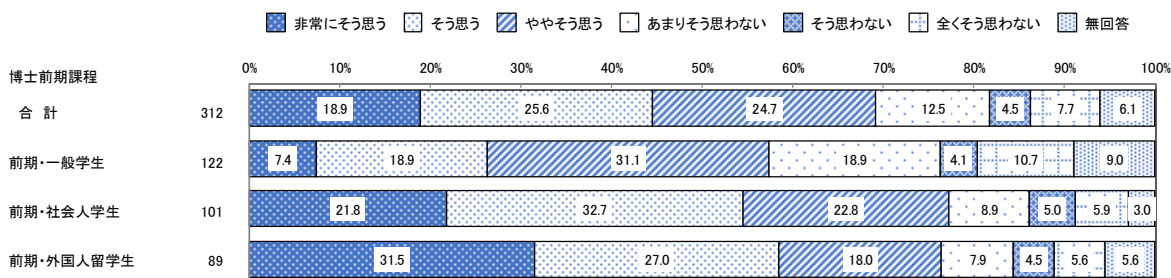
(3) 本学では講義に関する質問がある学生に対して、教員が積極的に対応するため、チュートリアルアワー（オフィスアワーから名称変更）の時間を設け、理解力の向上を支援しています。これについてお答えください。

・在籍時のチュートリアルアワー（オフィスアワー）は、あなたにとって有益であったと思いますか。



(4) 本学では、知識科学の方法論に基づいた必修講義「人間カイノベーション論」「創出カイノベーション論」を全学展開しています。これについてお答えください。

・これらの必修講義を受講した経験は、現在のあなたにとって有益でしょうか。

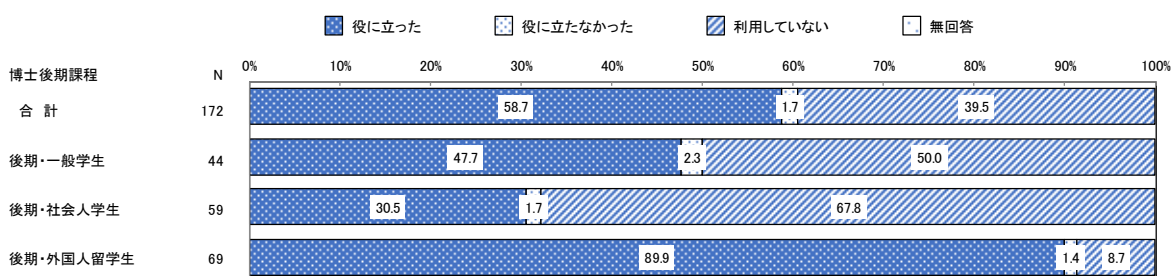
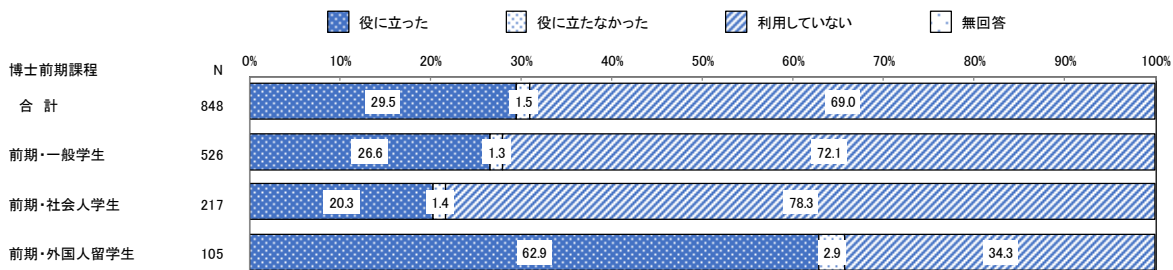


※調査対象者は修了年度 2017 年度以降で、「博士前期課程」において「人間カイノベーション論」「創出カイノベーション論」を履修している修了者、「博士後期課程」において「人間力・創出カイノベーション論」を履修している修了者。

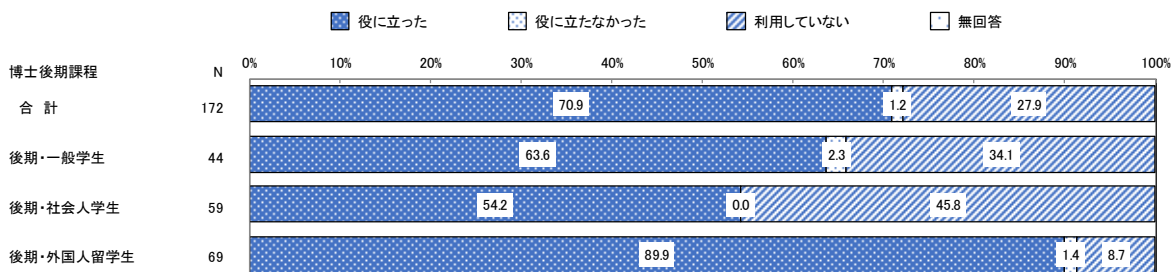
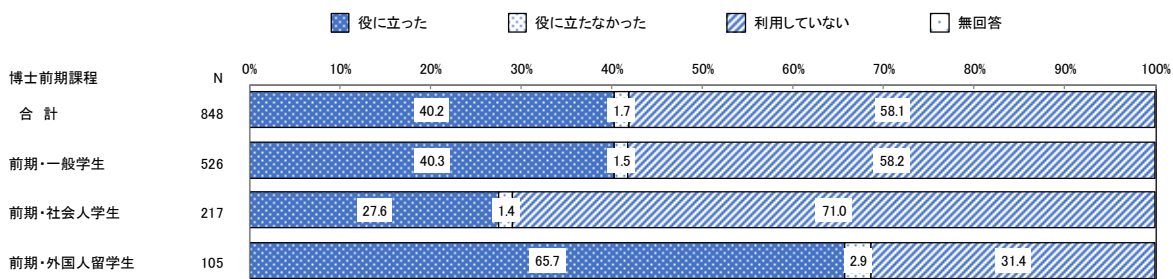
4. 本学での学生支援について

4-1. 在学中に支援を受けた以下について選択してください。

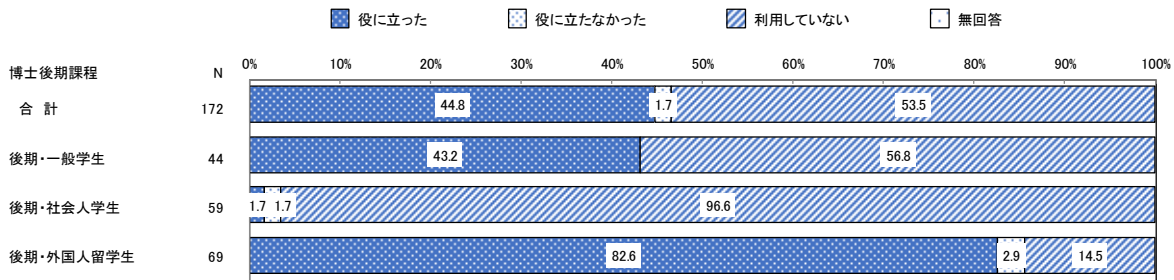
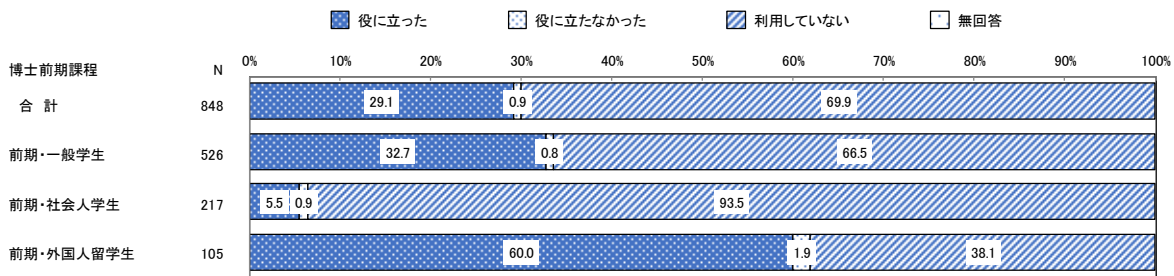
・研究費の支援



・学会成果発表等に対する経費支援

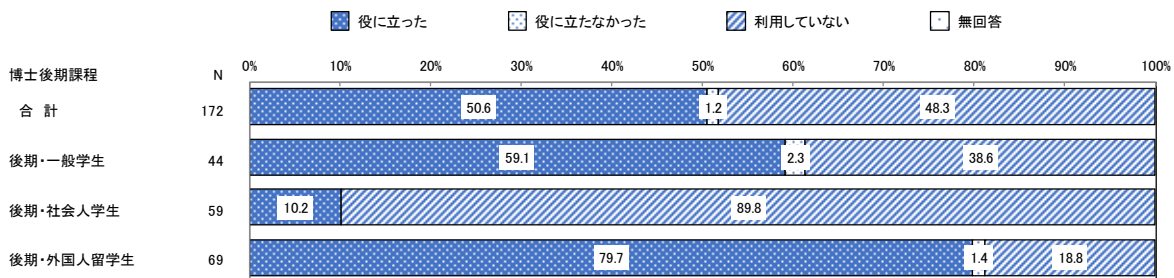
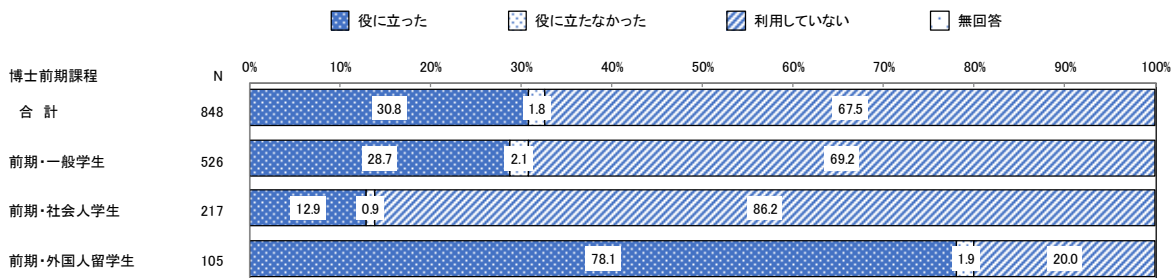


・日本学生支援機構（JASSO）以外の奨学金（本学独自の奨学金を含む）

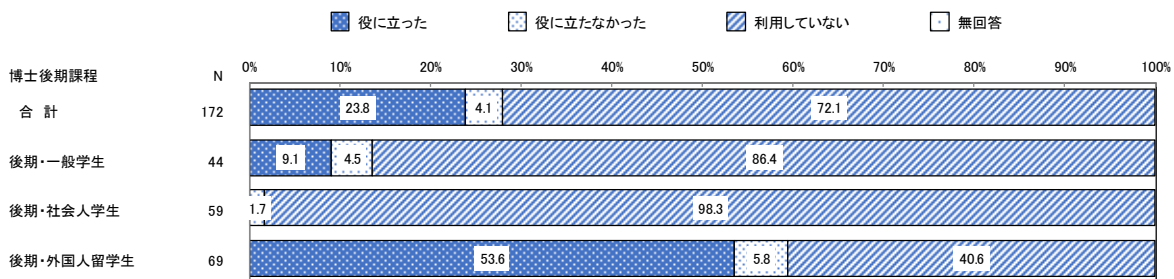
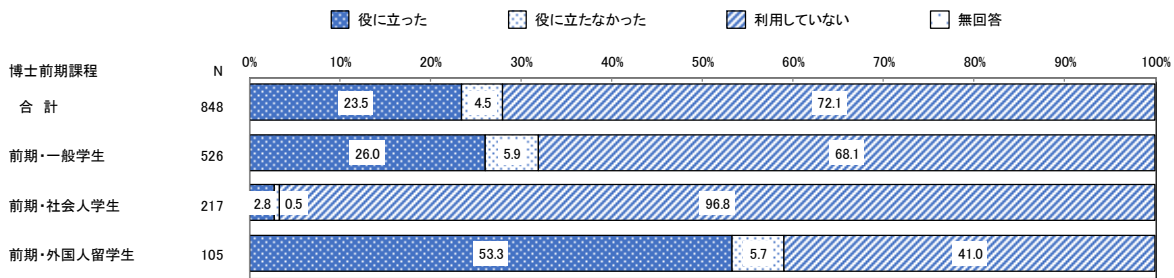


※本支援は東京社会人コースの学生は対象外

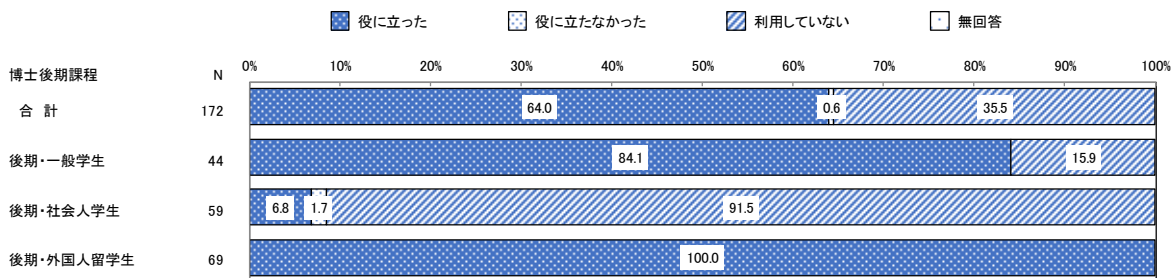
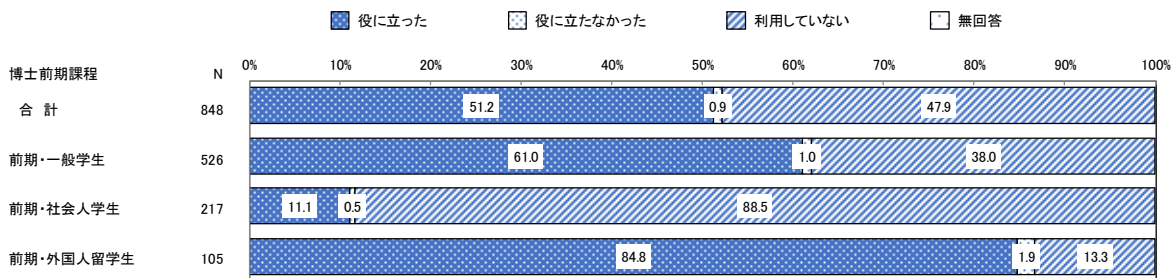
・入学金・授業料の減免



・就職支援及び就職活動経費支援

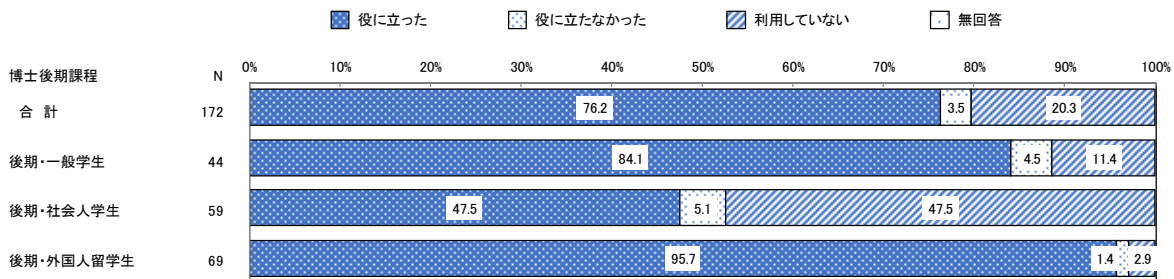
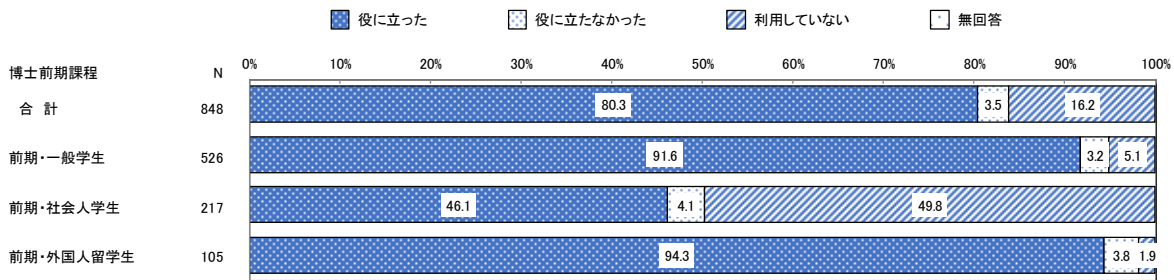


・学生寄宿舍

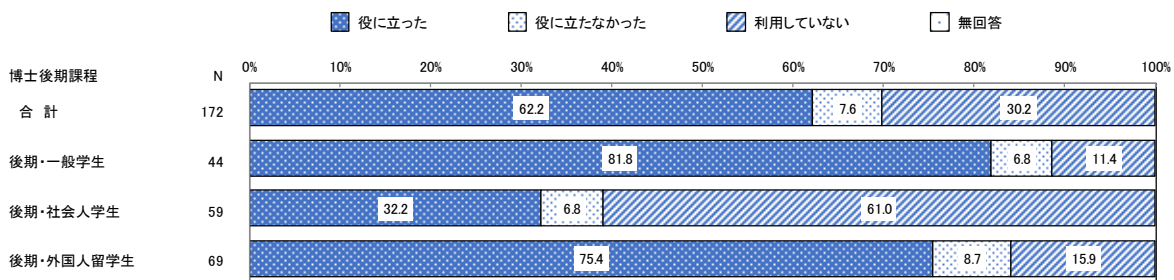
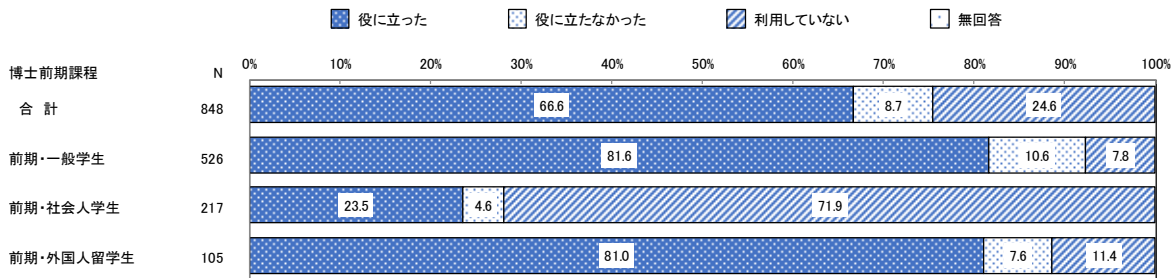


※本支援は東京社会人コースの学生は対象外

・ 附属図書館

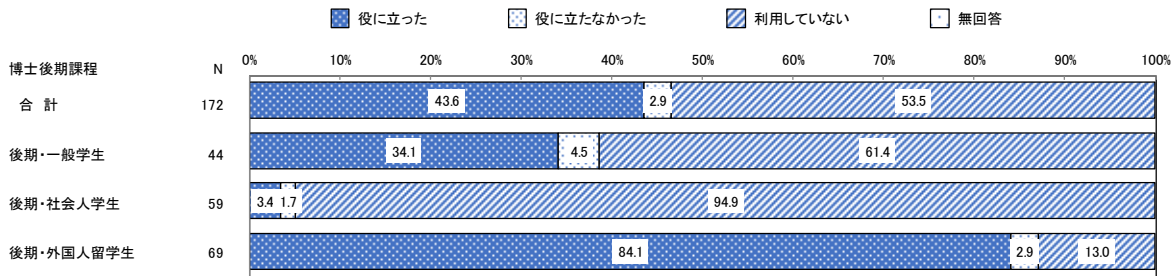
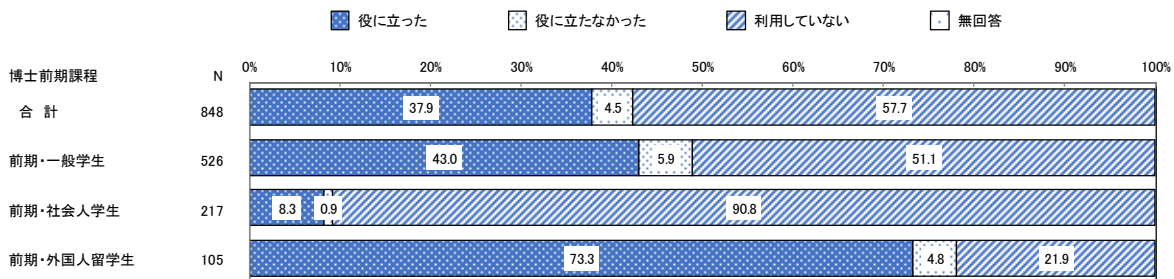


・ 食堂



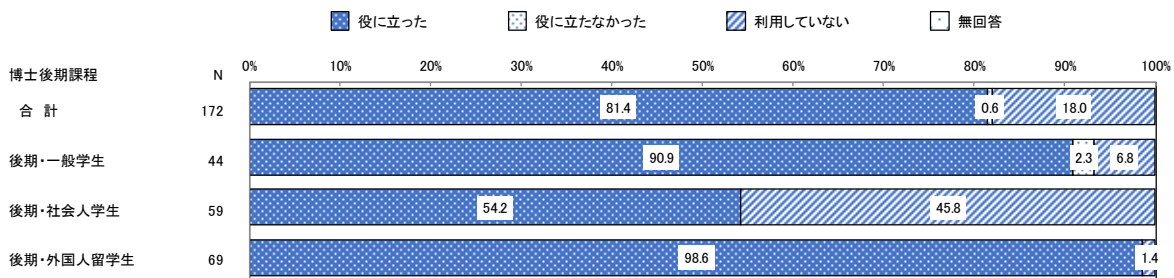
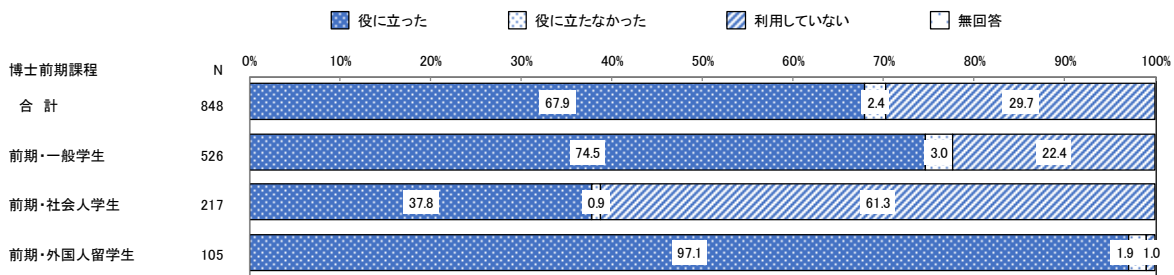
※本施設は石川キャンパスに設置しているため、東京社会人コースの学生は対象外。

・スポーツ施設



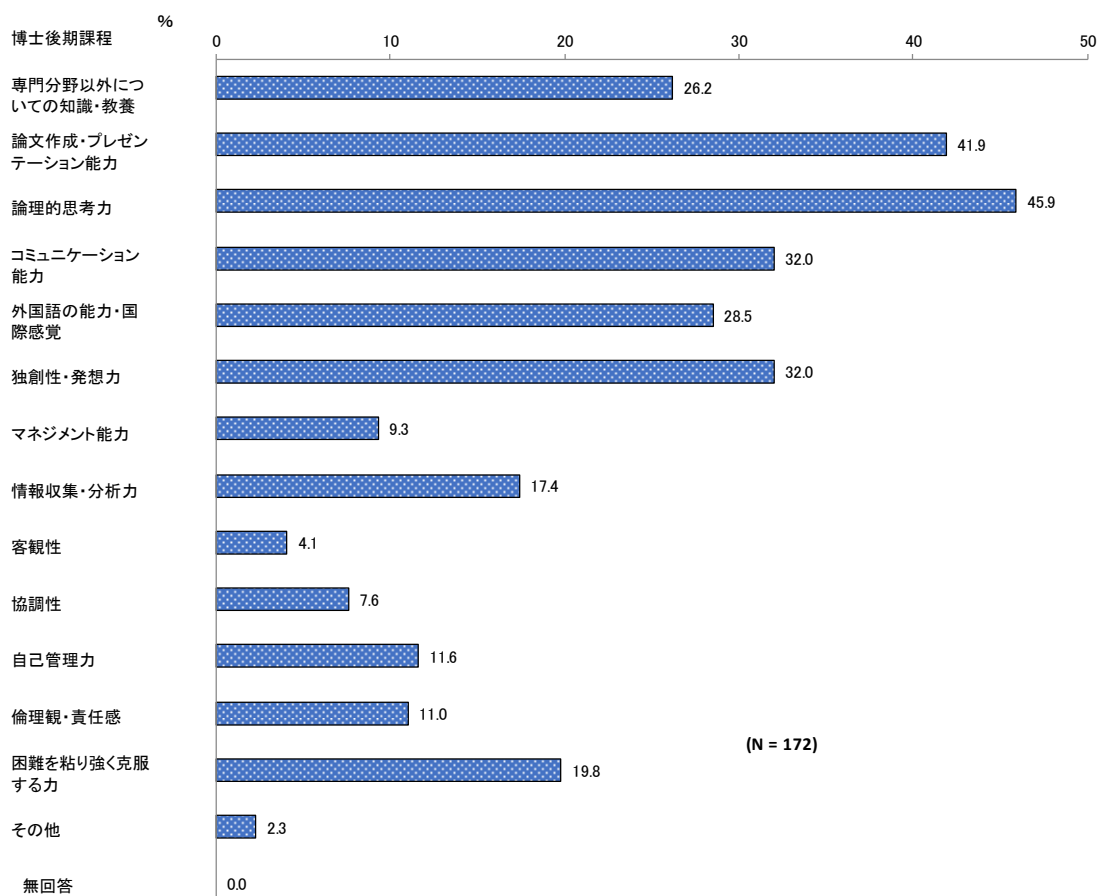
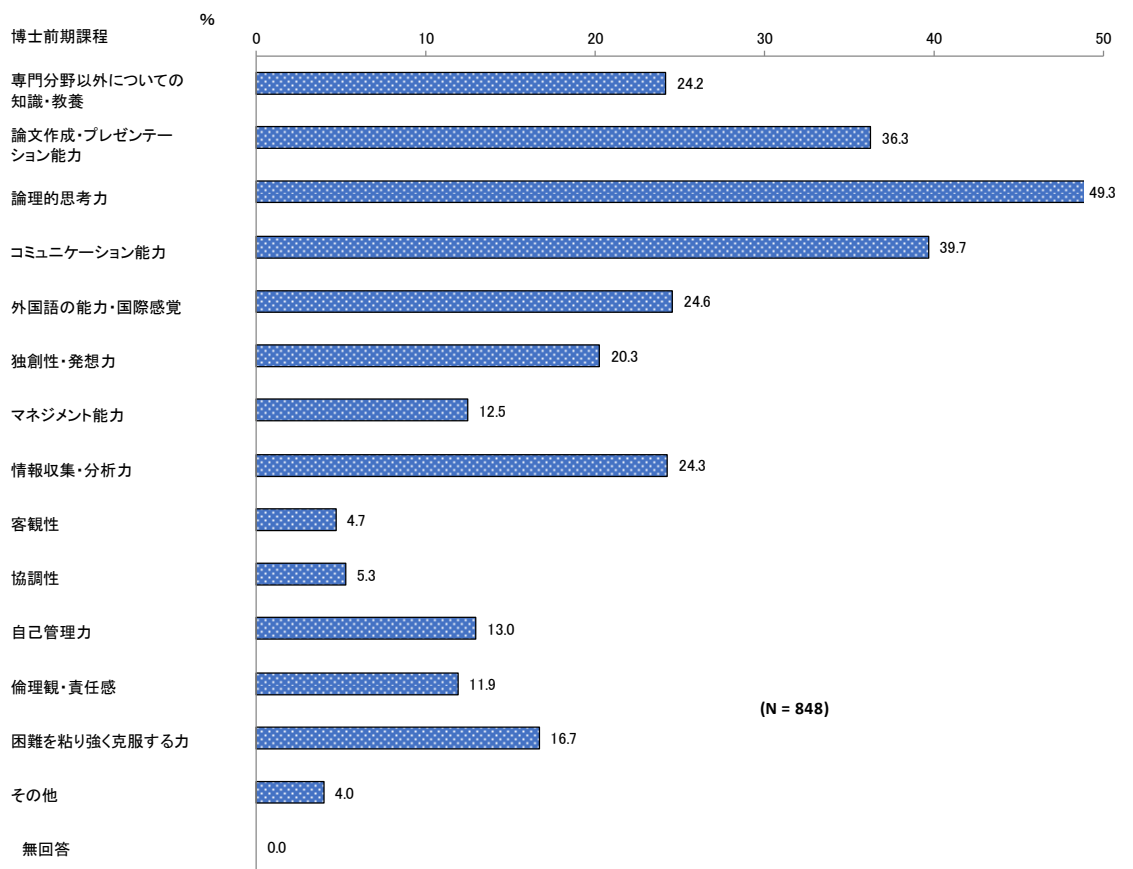
※本施設は石川キャンパスに設置しているため、東京社会人コースの学生は対象外。

・シャトルバス

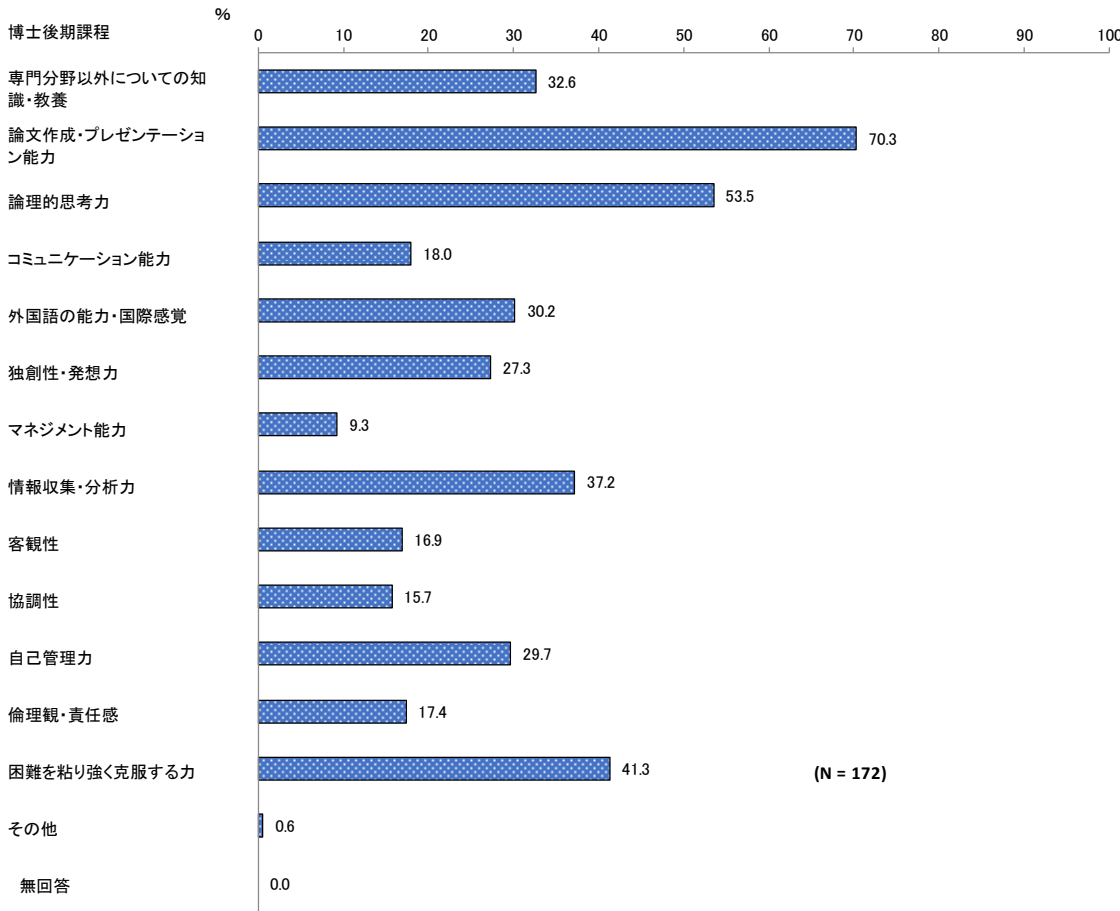
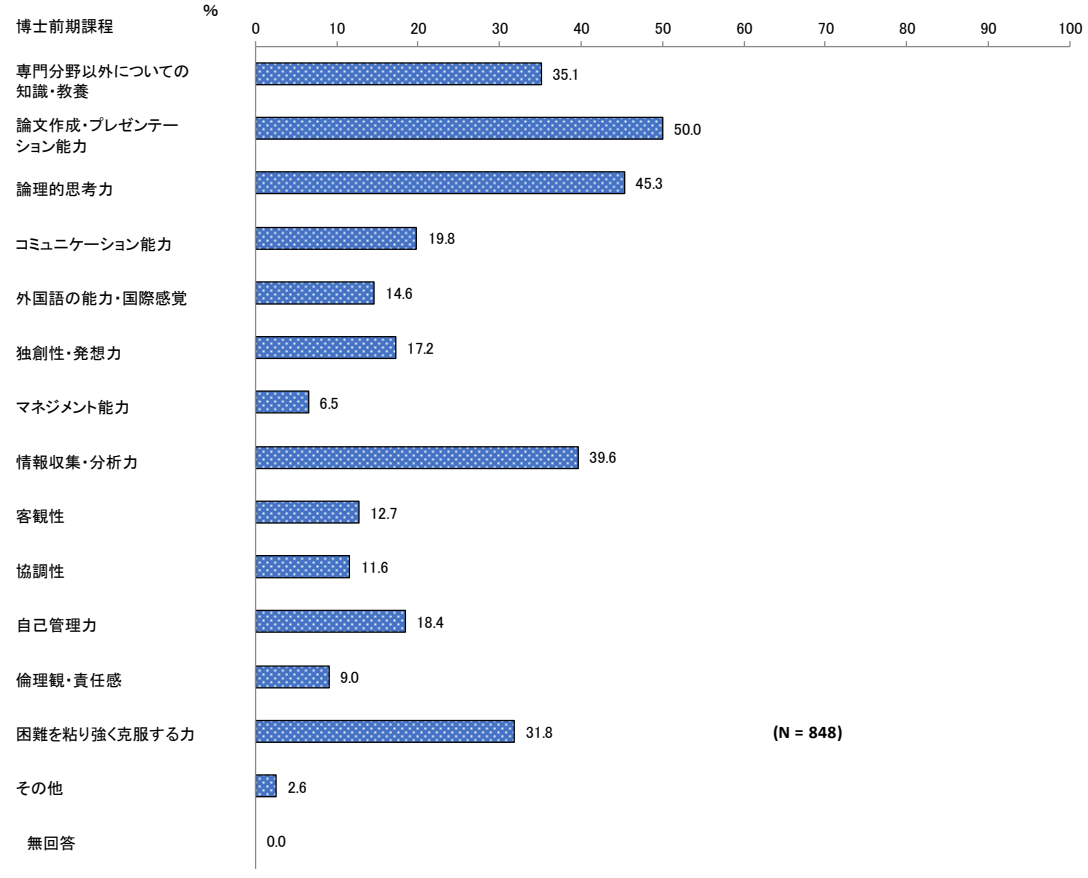


5. これからの大学院教育について

5-1. 人材育成の観点から、専門分野の高度な知識とスキル以外でこれから学生が修得すべき能力について、最も必要だと思われるものを選択してください。（3個以内）



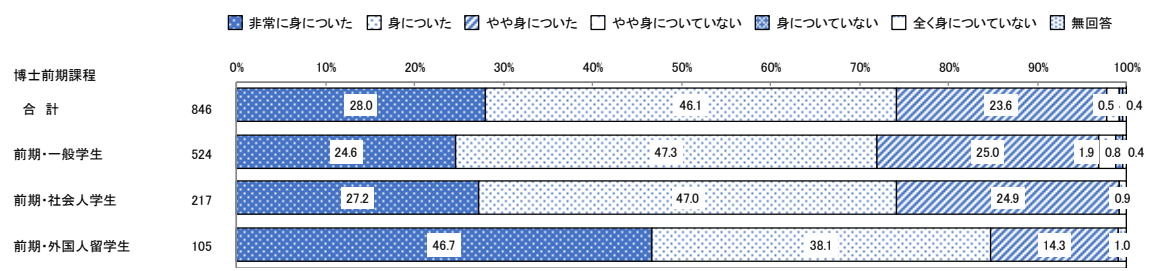
5-2. あなたが本学に在学中に、自分が満足できる程度に修得したと思う能力を選択してください。（複数選択可）



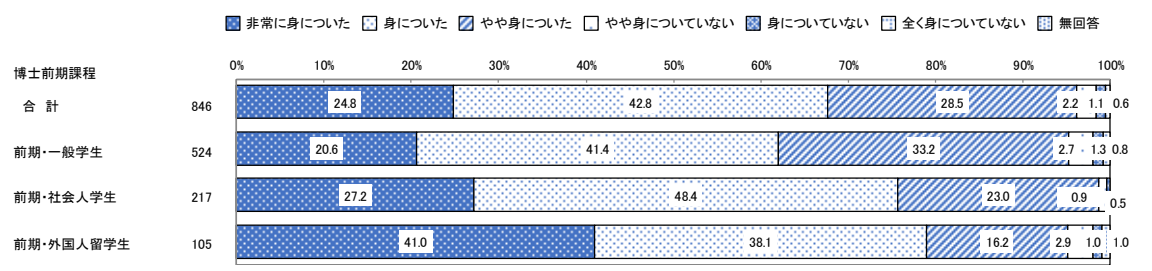
5-3. 以下に記載したのは、本学のディプロマポリシーに記述のある能力です。これらのような能力が本学を修了したことにより身についたと思いますか。

博士前期課程（先端科学技術研究科先端科学技術専攻、知識学研究科、情報学研究科、マテリアルサイエンス研究科）修了者への設問

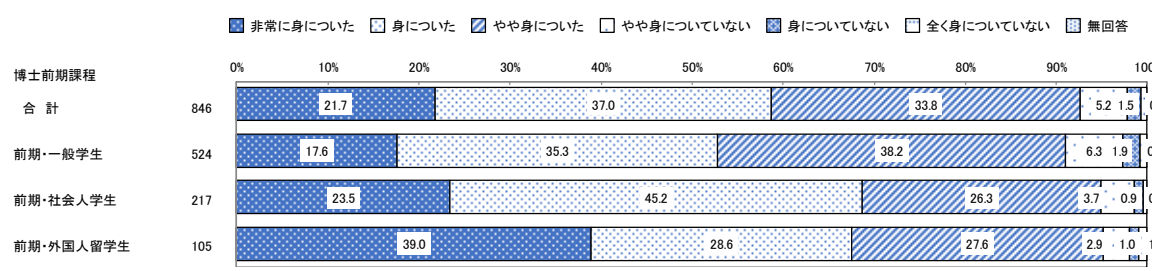
・ 専門分野における先端科学技術の基礎概念を理解する能力



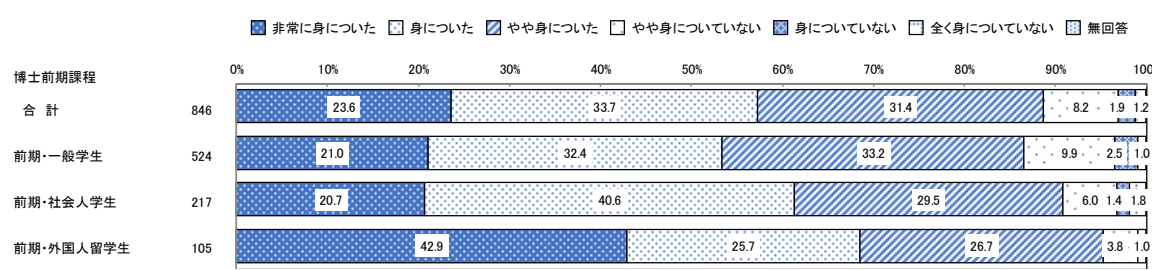
・ 専門知識を応用して問題発見や問題解決できる能力



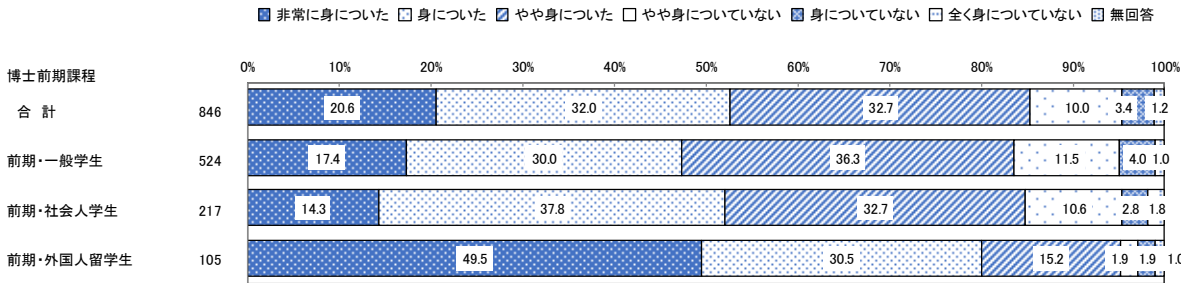
・ 学術的、社会的に価値ある研究を主体的に遂行できる能力



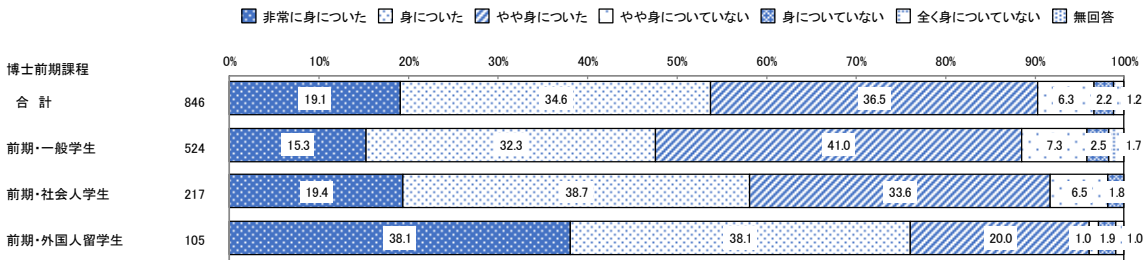
・ 専門とは異なる分野や未踏分野に挑戦できる能力



・多様な文化に対する理解力、コミュニケーション能力

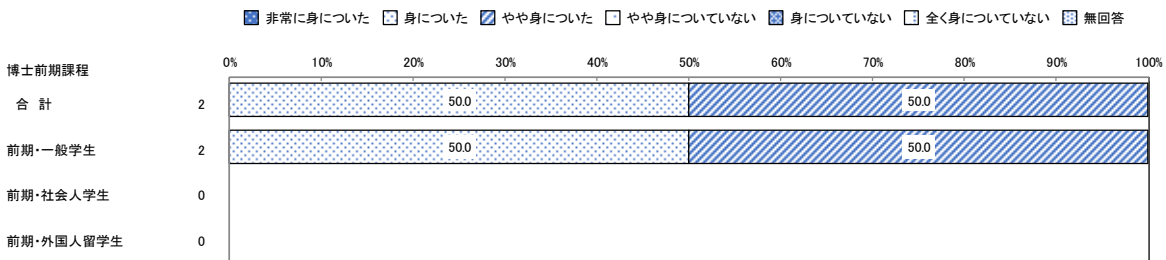


・研究者、技術者としての高い倫理観

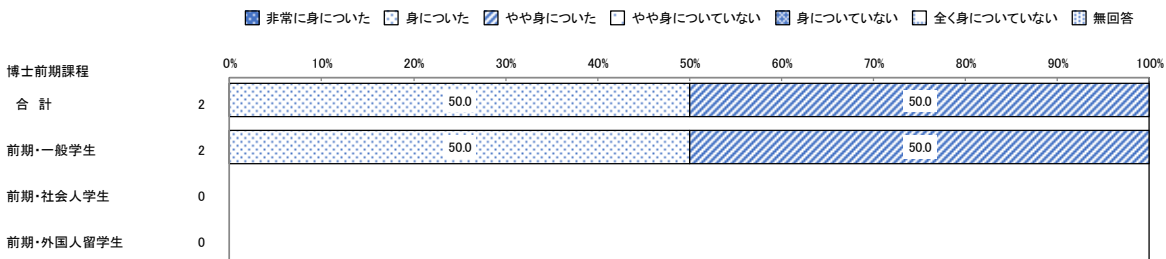


博士前期課程（先端科学技術研究科融合科学共同専攻）修了者への設問

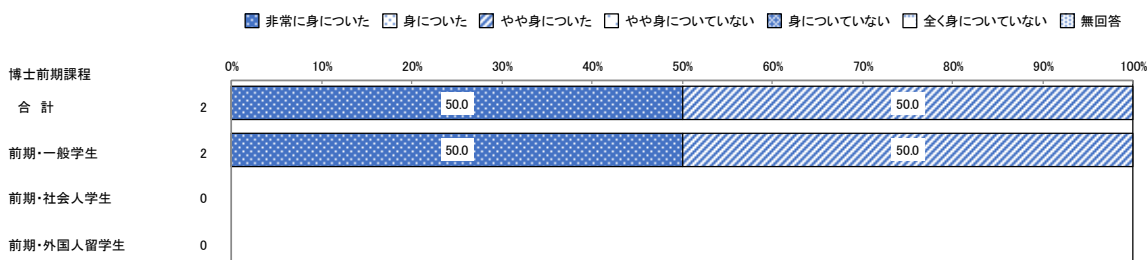
・科学技術イノベーションに関連する社会課題の解決に貢献できる能力



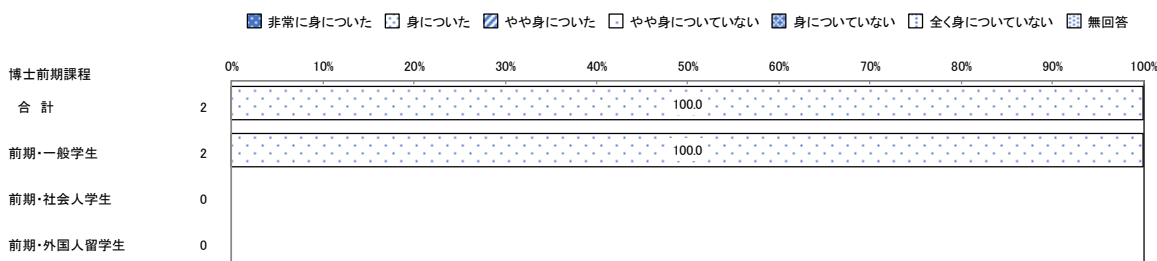
・自分の専門分野に関する知識と実践力



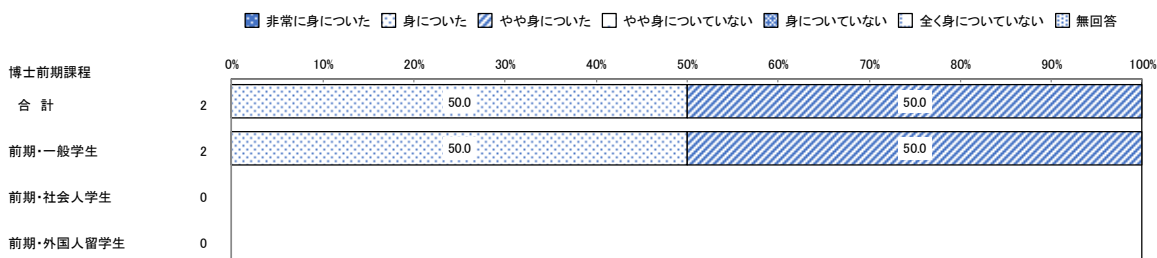
・他分野に対して積極的に関与する意欲と能力



・外国語の学術論文を読みこなし、自分の研究を外国語で簡単に説明できる能力

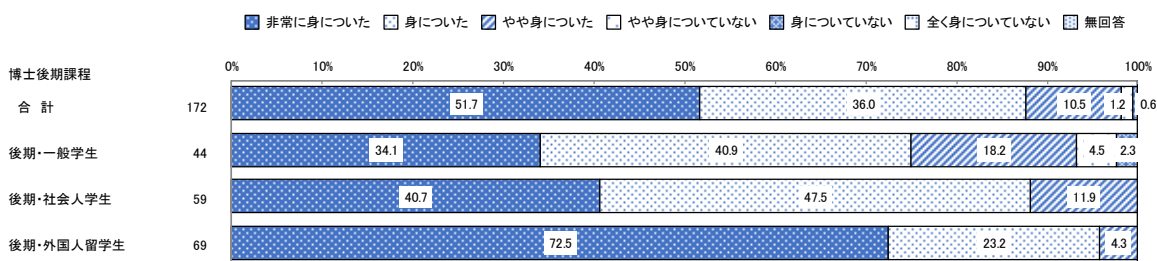


・科学・技術・生命に対する研究者倫理観

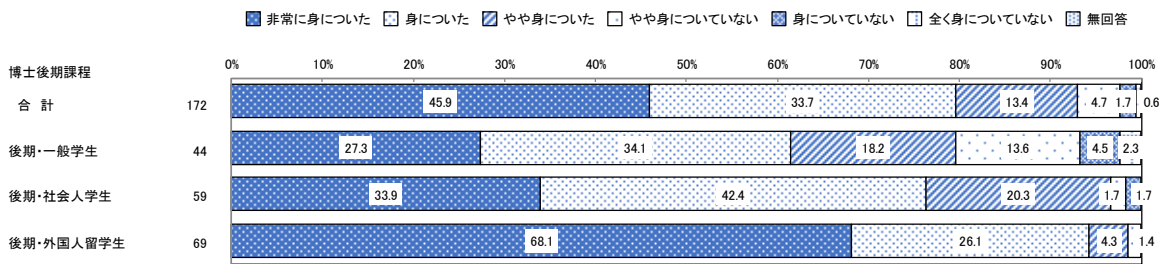


博士後期課程(先端科学技術研究科先端科学技術専攻、知識学研究科、情報学研究科、マテリアルサイエンス研究科)修了者への設問

・専門分野における先端科学技術の理論や体系を幅広く理解する能力



・学術的に新規性、独創性のある研究を立案、遂行し、世界的に通用する研究業績をあげる能力



・俯瞰的な視野を持ち、先端科学技術分野においてリーダーシップを発揮できる能力

